

部会発表③
 広報部会
 「活動ハンドブックの活用」

広報部会では、活動ハンドブックの活用推進を図るため、市町村民児協や単位民児協での活用事例を紹介することとしました。

1 発行した活動ハンドブック

令和4年10月に広報部会から全委員を対象とした「民生委員・児童委員 主任児童委員 活動ハンドブック」を発行しました。
 令和4年11月に主任児童委員部会から主任児童委員を対象とした「笑顔をつなごう主任児童委員 活動ハンドブック」を発行しました。

2 発行のねらい

(1) 時代的背景

- ・ 経験の浅い1〜2期目の委員が全体の約半数を占めます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症により、研修や活動が制限を受け、スキル向上の阻害要因となりました。

(2) 目的

- ・ 委員が自己学習できる教材の提供
- ・ 市町村民児協や単位民児協の定例会や研修で活用できる資料の提供

(3) 工夫した点

- ・ 分野別に並べ、知りたい対象を見つけやすくなりました。
- ・ Q & A方式にして、疑問と対応を解りやすくなりました。
- ・ メモ欄を各ページに設け、記入しやすくしました。

3 活用事例

(1) 活用事例の説明

三郷市民児協、松伏町民児協、狭山市民児協、桶川市民児協、本庄市民児協、熊谷市民児協（アンケート実施）の活動ハンドブックの活用事例を紹介しました。

(2) 活動ハンドブックの効果

- ・ 定例会で活動ハンドブックを利用することにより、話し合いの内容が具体的にになりました。
- ・ 事例に対するアンサーが方向性を示し、理解しやすい資料です。
- ・ 事例により、経験がないことも場面が想定でき、事前に心構えができます。

民児協名	活用方法
松伏町民児協	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全委員が毎回の定例会のとき、活動ハンドブックを持参しているため、時間に余裕があればいつでもスポットで勉強会を行える状態になっている。 ・ 6月に大雨があり、活動ハンドブック・災害を行った。 ・ 7月の定例会では、児童生徒・高齢者の見守りとヤングケアラーについて学んだ。 ・ 前会長から現会長への引継ぎ事項の1つに活動ハンドブックの活用も位置づけられ、<u>継続性のある組織運営</u>としても、参考にしたい。



4 質問など

(1) 松伏町民児協が定例会で取り上げるテーマは、事前に決めていくのでしょうか。

【回答】今までは、そのときの情勢に合わせて、事前に役員で決めていました。

(2) 吉見町民児協での事例です。熱中症で救急搬送の際、救急隊員から民生委員に同乗して欲しいと言われ、病院まで同乗しましたが、その後、医師から経過報告をしたいと言われ、さすがに断ったケースがありました。このようなとき、どうしたらよいのでしょうか。

【回答】友人などであれば、同乗も考えられますが、一般的な民生委員と見守り対象者の関係であれば、救急車には同乗すべきではないと思います。民児協として、救急隊との間で、事前に方針を定めておくことも必要かと思えます。



5 今後の展望

「活動ハンドブック」は、制度変更の都度、改定版を出すのが理想ですが、コスト的にも体力的にも難しいため、次の一斉改選の令和7年12月に第2版を発行する予定です。

よりよい第2版とするため、追加したい内容（Q部分）、他に考えられる対応（A部分）、内容として疑問を感じるものがありましたら、広報部会、埼玉県民児協事務局まで、お知らせください。（志子田 健一）



(発表・写真右) 部会長 志子田 健一
(進行・写真左) 副部会長 藤野 美佐子

民児協名	活用方法
熊谷市民児協	<ul style="list-style-type: none"> 各単位民児協に活動ハンドブックの活用に関するアンケートを実施し、主な回答は次のとおり。 事例に対するアンサーが方向性を示しているので、分かりやすく、自分自身に経験がなくても、事例により場面を想定できるため、心構えができる。 地区の会合で、民生委員・児童委員としての活動の確認と、課題別の事例をもとに話し合いを行っている。 3月定例会で地域包括センターについての意見があったので、活動ハンドブックを確認した結果、地域包括支援センターの役割と現状について、4月の日帰り研修として、講演の実施に繋げることができた。

